

平成 29 年度 第 1 回 松山市子ども・子育て会議

教育・保育部会 会議録

1. 日時

平成 29 年 5 月 30 日(火) 10:40～11:30

2. 場所

松山市青少年センター3 階 小ホール

3. 当日の出席者等

(1) 出席委員 (10 人)

相原 真亜沙、上岡 周介、大江 保、香川 実恵子、鳥谷 久美、二宮 一朗、三浦 和尚、村上 出、森 公夫、吉田 可奈子 (五十音順、敬称略)

(2) 事務局

保育・幼稚園課、学校教育課

4. 傍聴の可否

可 (傍聴者 0 人)

5. 会議次第

(1) 開会

(2) 事務局職員紹介

(3) 報告事項

①本日の報告事項について

②「松山市子ども・子育て支援事業計画」の平成 27 年度実施状況について

・第 4 章「施策の展開」部分

・第 5 章「子ども・子育て支援の新たな取り組み」部分

(4) その他

①連絡事項等

(5) 閉会

6. 配布資料

・部会次第

・松山市子ども・子育て会議 教育・保育部会委員名簿

・【資料 1】 本日の報告事項について

・【資料 2】「松山市子ども・子育て支援事業計画」の平成 27 年度実施状況について
～第 4 章「施策の展開」部分～

・【資料 3】「松山市子ども・子育て支援事業計画」の平成 27 年度実施状況について
～第 5 章「子ども・子育て支援の新たな取り組み」部分～

・【参考資料 1】 松山市子ども・子育て支援事業計画 確保の内容 (27 年度実績)

会議録

1. 開会

・事務局

それでは、ただ今から、平成 29 年度第 1 回松山市子ども・子育て会議教育・保育部会を開会させていただきます。

本日の部会につきましては、委員総数 10 名全員の御出席をいただいておりますので、松山市子ども・子育て会議条例第 8 条第 4 項の規定により準用する第 6 条第 2 項の規定により、本会議が成立しておりますことを、御報告させていただきます。

2. 事務局職員紹介

・事務局

続きまして、本事務局の関係課をご紹介します。

～事務局職員紹介～

3. 報告事項

・事務局

それでは、松山市子ども・子育て会議条例第 8 条第 4 項の規定により準用する第 6 条第 1 項の規定により、これより先は、三浦部会長に進行をお願いいたします。三浦部会長、よろしくお願いいたします。

・三浦部会長

29 年度最初の会議となります。これまでの経緯もありますが、引き続きよろしくお願いいたします。本日は、「松山市子ども・子育て支援事業計画」の点検評価を行うにあたって、平成 27 年度の事業の実施状況の報告となっています。

それでは、報告事項の 1 つ目である、「本日の報告事項」について、事務局から説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、資料 1～2 に基づき、「本日の報告事項について」を説明～

・三浦部会長

本日は、平成 27 年度の部分の確認を行い、平成 28 年度の部分は、また次回に行うこと。このあとに、第 4 章部分と第 5 章部分について、事務局から報告を行うということ。本日の会議では、評価を決めるのではなく、持ち帰って各委員の方が評価をするということですので、改めてご承知おきください。

何か、ご意見ご質問があるようでしたらお願いします。

(部会委員 意見なし)

・三浦部会長

では続きまして、報告事項の 2 つ目である、「松山市子ども・子育て支援事業計画」の平成 27 年度実施状況のうち、計画の第 4 章「施策の展開」部分について、事務局から説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、資料 2 に基づき、「松山市子ども・子育て支援事業計画の平成 27 年度実施状況につ

いて～第4章“施策の展開”部分～」を説明～

・三浦部会長

事業計画全体では、190の事業の進捗管理ということになります。そのうち、この部会で確認する部分が資料2でまとめられていて、その中の27年度の実施状況について報告をしていただきました。進捗管理表と書かれている部分については、このあとの第5章部分での説明になるようですので、そちらに委ねたいと思います。

ご意見ご質問ございましたらお願いいたします。

(部会委員 意見なし)

・三浦部会長

このあとの第5章部分の説明の時に、この第4章と関連するものがあれば、付け加えて意見を言ってもよろしいでしょうか。

・事務局

差し支えありません。

・三浦部会長

記載している内容で不明な点や質問があれば、第5章の点検評価の時に付け加えることができる意見の中で、何かあれば事務局に問い合わせてお答えをもらって、意見をいただくという形をとらせていただきたいと思います。

・三浦部会長

続いて、本日の中心部分になりますが、計画の第5章部分について、事務局から説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、資料3及び参考資料1に基づき、「松山市子ども・子育て支援事業計画の平成27年度実施状況について～第5章“子ども・子育て支援の新たな取り組み”部分～」を説明～

・三浦部会長

第5章のうち、2つの事業については、数値目標を定めていないので、数値的な評価を行わず、それ以外の所では、自己評価として概ね順調に実施できたところに「○」が入っています。この自己評価の部分の下に委員評価がありますので、そこに各委員の方がそれぞれ0～5までの数字を入れていただくようになります。評価の提出方法については、このあと事務局から事務連絡で説明があると思いますので、内容や評価の方法について、何かご意見ご質問があるようでしたらお願いします。

・大江委員

資料3の1ページでは、市内全体となっていて、その後のページには9つの区域に分かれて、それぞれ委員評価となっていますが、市内全体だけの評価を行うのか。それとも、各区域すべての評価を行うのか。

・事務局

市内全体に加えて、各9つの区域の部分についても評価をしていただきます。3ページの中心部のことを例にしますと、1号、2号、そして3号の0歳部分と1,2歳部分にも評価をいただくことに

なります。自己評価が入っている部分には、すべて委員の方から評価をいただくことになります。

・香川副部長

評価基準を見て、数値的には目標どおり行われていれば「3」という認識でよろしいでしょうか。

・事務局

実績値が計画値に対して一定実施されていれば、「3」という評価をいただければと思います。

・香川副部長

例えば、延長保育事業など、計画値よりも多く実施されているところがあると思います。ここは、逆に解せばニーズが計画よりもあったということで、今後重点を置いていく必要があると思います。

また、3歳未満児の保育利用率について、計画値より利用率が低いことは、ニーズ量よりも十分達成できているという見方もできるのではないかと思いますので、プラスの評価とすることもできるが、数値だけを見ると、評価が低くなってしまいがよろしいのでしょうか。

・事務局

実績値が計画値よりも大幅に多いところは、香川委員のご意見のとおり、ニーズが計画値よりも多かったということになります。そのため、今回の27年度と次回の28年度も見ながら、秋以降に行う、事業計画の見直しの中の検討事項とさせていただきたいと考えています。

3歳未満児の利用率については、ご家庭で保育を希望される方もいるため、必ずしも高い方がよいという認識ではありません。そのため、先ほどいただいたご意見は、附帯意見という形で、付け加えていただければと思います。

・香川副部長

目標値に対する実績値のみに注目して評価を行えばよいのか。

・事務局

委員評価の6段階の評価については、あくまで数値をみでの評価としていただきたい。

・三浦部長

量の見込みと実績値が大きく離れているところは、秋以降に見直すということですので、実績値を見て順調にいったいるかを判断していただければと思います。

事務局で「△」としていますが、実績値が少なくても問題ないと判断されれば「3」という評価を付けてもいいと思います。

市の事業は、いろいろと行っていて、特定の事業だけ飛び抜けて成果を上げることは難しいと思います。計画での見込みをもって、着実に進んでいるかを判断することですので、個人的な感覚ですが、評価で「5」をいくつも付けるのは難しいと思っています。

・二宮委員

評価については、理解しました。資料3の13ページにある延長保育事業で、量の見込みと目標値に対して、事業はしっかりと行われているのが分かるのですが、当該年度の予算額に対して決算額が半分となっている。スムーズに事業が行われているのに、半分となった理由は何かあるのでしょうか。

・事務局

延長保育事業は、30分、1時間、2時間延長の種類があり、それぞれ国の補助額が異なっています。予算編成を行う時に、各園にどの延長保育を行う予定か聞き取りを行った上で、予算を編成し

ています。延長保育事業の補助金は、事業を利用した児童数に対して金額が決まるので、1 時間延長を実施する予定だった児童が 30 分延長になったり、利用しなかったりした場合に金額が予算と異なります。各園では、予算編成時の区分に応じた延長保育事業を実施できる体制を整えてはいるものの、実際利用した人数が異なったため、予算額と差が生じています。

- ・二宮委員

利用した実績値ということになるのか。

- ・事務局

実績値は、利用した実利用児童数になります。

- ・三浦部会長

2 時間延長の利用と見込んでいた子どもが、30 分延長の利用になったので、予算額と実績に差が出たということですね。

- ・三浦部会長

よろしいでしょうか。また、評価を行っていた時に、疑問などがあれば事務局へお問い合わせいただきながら、評価を進めていただければと思います。

以上で、本日の議事はここまでになりますが、改めて何かありましたらお受けいたします。

よろしければ事務局の方にお返しいたします。

4. その他（連絡事項）

- ・事務局

～事務局から、連絡事項を説明～

5. 閉会

- ・事務局

それでは三浦部会長、本当にありがとうございました。

以上をもちまして、「平成29年度第1回松山市子ども・子育て会議教育・保育部会」を閉会いたします。

委員の皆様におかれましては、全体会からの長時間の会にも関わらず円滑な議事の進行に御協力いただきましてありがとうございました。

（了）